

資料提供	
平成29年2月10日	
担当	境港管理組合総務課 田中
電話	0859-42-3705

平成28(2016)年 境港の取扱貨物量について〈速報値〉

○全体貨物量は、374万7,659トン（前年比0.3%増）と増加。輸出貨物については、18万5,235トン（同-18.0%減）と減少し、輸入貨物については、189万195トン（同6.0%増）と増加した。

○コンテナ取扱貨物量（実入り）は **2万4,924TEU（前年比6.2%増）** であり、これまでの最高だった平成27年の取扱貨物量（2万3,463TEU）を上回り、**過去最高**を更新。韓国航路（同6.6%増）、中国航路（同3.8%増）ともに増加した。

□全体貨物

- 全体貨物量は、3,747,659トンと前年比0.3%の増加。月別の推移をみると、月により変動はあるが、年前半に比べ年後半の伸びが大きくなっている。
- 輸出貨物は、木製品等が増加する一方、非鉄金属等が減少したことにより、185,235トンと前年比-18.0%の減少となった。輸入貨物は、原木等が減少したものの、木材チップ、鉄鋼等が増加したことにより、1,890,195トンと前年比6.0%の増加となった。
- 移出は、重油等が増加したものの、石材等の減少により、195,379トンと前年比-18.4%減少した。移入は、石油製品等が減少する一方、セメント、重油等が増加したことにより、1,476,850トンと前年並みとなった。

□コンテナ貨物

- コンテナ取扱貨物量は、24,924TEU、前年比6.2%増と過去最高であった平成27年の取扱貨物量（23,463TEU）を上回った。なお、韓国航路は21,536TEU（前年比6.6%増）、中国航路は3,388TEU（前年比3.8%増）と、ともに増加となった。
- 輸出は、紙・パルプ、木製品等が増加し、12,659TEUと前年比8.6%の増となった。輸入は、非金属鉱物等が減少した一方、産業機械等が増加し、12,265TEUと前年比3.9%の増となった。
- 貿易相手国（上位の相手国）については、中国、フィリピン、アメリカが増加した一方、韓国、タイは減少している。

～主要増減貨物：出入区分別の平成28（2016）年主要増減貨物～

＜全体貨物＞

（単位：トン）

外貨		H28	H27	増減率	内貨		H28	H27	増減率
輸出	紙・パルプ	120,719	159,487	-24.3%	移出	石材	1,679	21,311	-92.1%
	木製品	20,339	6,675	204.7%		重油	67,663	63,903	5.9%
	非鉄金属	12,722	29,437	-56.8%		紙・パルプ	3,314	6,025	-45.0%
輸入	木材チップ	1,480,144	1,373,612	7.8%	移入	セメント	372,669	349,327	6.7%
	原木	247,994	249,645	-0.7%		重油	164,092	148,511	10.5%
	鉄鋼	31,887	25,868	23.3%		石油製品	807,773	854,110	-5.4%

＜コンテナ貨物＞

（単位：TEU）

		H28	H27	増減率			H28	H27	増減率
輸出	紙・パルプ	7,328	6,623	10.6%	輸入	非金属鉱物	1,720	1,881	-8.6%
	木製品	1,964	666	194.9%		産業機械	1,133	617	83.6%
	電気機械	718	540	33.0%		電気機械	2,331	2,061	13.1%

※ なお、今回発表する数値は速報値であり、後日、発表する数値と異なる場合がありますのでご了承ください。

※ 国際定期フェリーは、韓国航路に含みます。

※ TEUとは、20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位です。